

ふれあいネットワーク

# やえせ社協だより

47号

編集・発行 社会福祉人 八重瀬町社会福祉協議会

(本所) 〒901-0401 八重瀬町字東風平1318-1 TEL.098-998-4000 FAX.098-998-8999  
ホームページ: <http://www.yaeseshakyo.com/>

ホームページは [八重瀬町社会福祉協議会](http://www.yaeseshakyo.com/)

検索 クリック!



## 平成30年度やえせ長寿学園がスタートしました。



去る7月12日（木）「平成30年度やえせ長寿学園の入学式並びに第1回講義」を開催しました。本事業は今年度より町社協が主体となって進めており98名の方が登録されております。

入学式では多和田副学長（社協副会長）の開式の辞の後、金城学長（社協会長）から式辞が述べられました。

来賓の新垣安弘町長からは「生涯学習のお手本となる皆様、どうぞ健康に留意され楽しい学園生活を送って下さい。」と激励の挨拶がありました。

その後は、知念秀雄副学長（町老連会長）からの閉式の辞で入学式を終了しました。

休憩後、第1回目の講義「琉球の歴史について」賀数仁然（かかずひとさ）氏の講演がありました。講演は、貿易の視点から琉球を分析・評価していく内容で、琉球の存在意義と発展を十分に知ることができました。更に本町の字富盛に伝わる伝統文化の由来等の紹介もあり参加者からは「これまでにない話が聞けてよかった」「琉球の歴史をもっと深く知りたい」と大好評でした。





# 平成30年度 赤い羽根共同募金運動がはじまります!

今年も、平成30年10月1日から平成31年3月31日まで「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。皆様からお寄せいただいた多くの寄付金は、皆様が住んでいる八重瀬町の様々な地域福祉活動に役立てられます。

今年度の目標額 **5,331,000円**

ご協力よろしく  
お願いします!

### 今年度の目安額

- 世帯 ..... 500円
- 職域(管理職) ..... 1,000円以上  
(一般) ..... 500円以上
- 個人大口 ..... 5,000円以上
- 法人 ..... 10,000円以上

### 赤い羽根

【赤い羽根共同募金】

1947年(昭和22)年に始まった歴史も長い赤い羽根共同募金運動です。毎年10月1日～12月31日までの3ヵ月間、町の中をめぐってボランティアの赤い羽根が町を回りながら募金活動を行います(10月1日～3月31日までの期間を延長して呼びかけを行う地域もあります)。

誰かの役に立ちたくて、  
募金をしたり、  
じぶんの町の役に立っていた。  
赤い羽根は  
自分たちを応援する  
募金でもあります。

### じぶんの町

【じぶんの町を良くする活動】

募金したお金は、募金された地域に使われます。つまりじぶんの町を良くする活動の資金に使われているのです。みなさんの町を思い、おはよう・ごきげん・おはつとで頑張ります。

### わたし

【心の拠り所になる】

募金したお金が、じぶんの町で使われる。町にしたいことを、募金で実現できる。人と笑顔を通して、町にのびやかな未来が広がる。自分たちの町に、思いがけず大きな力があふれる。



### 昨年度は、このように使われました!

昨年度実績 ..... 7,808,713円  
 県内の福祉施設や団体等へ ..... 1,556,000円  
 八重瀬町内の地域福祉活動へ ... 6,252,713円

#### ■地域コミュニティネットワーク事業として

三世交代交流、手芸教室、誕生日おめでとう会、ハロウィーン交流会、敬老会、グラウンドゴルフ大会、区民運動会、パークゴルフ大会、夕涼み会、角力大会、区民懇親会、自治会盆踊り、サトウキビ収穫祭、美化活動...等

#### ■社協事業として(ボランティアセンター事業等...)

小・中・高校生ボランティア研修会、ボランティア福祉団体助成金、福祉教育、総合学習...等



事務局

沖縄県共同募金会 八重瀬町共同募金委員会 社会福祉法人八重瀬町社会福祉協議会  
八重瀬町字東風平1318番地1(町社会福祉会館内) TEL:998-4000 FAX:998-8999



## 社会的孤立対策モデル事業を開始しました。

本会は平成30年度から3年間、沖縄県社会福祉協議会より「社会的孤立対策モデル事業」を受託することになりました。「社会的孤立」とは、様々な課題を抱えている方が、周りに助けを求める相手がいない、またはその人の周りにその人を気に掛ける人が誰もいない状態のことをいいます。（「福祉情報おきなわ」より）。

**モデル指定を受けた本会が取り組む事業は、以下の通りです。**

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| (1)コミュニティソーシャルワーカーの配置    | (4)社会福祉施設との協働   |
| (2)地域における孤立解消に向けた取り組み    | (5)広報活動の実施      |
| (3)地域支え合いづくり支援協議会(仮称)の設置 | (6)地域の特性にあわせた事業 |

去る6月に、町内4小学校区ごとに支え合い委員会連絡会を開催しました。

住民一人ひとりが、地域の中でいきいきと安心して暮らしていくためには、地域住民自ら身近な生活課題に取り組み、お互いに支え合う地域共生社会の実現が求められます。

そこで、地域の課題やニーズを掘り起こし、潜在化している福祉課題を住民同士がお互いに共有し、関係機関と連携のもと住みよい地域づくりの構築を目的とし、実施しました。

対象：区長・自治会長、書記、民生委員、老人クラブ会長、子ども育成会会長、青年会長等

「支え合い委員会」とは、字・自治会圏域に設置されている組織です。地域における見守りに関する情報共有、居場所づくりや交流の場づくり、地域住民のニーズ把握や解決策の検討を行い、地域の見守り体制の構築・強化を図る役割があります。

本連絡会において、

- ① 地域コミュニティソーシャルワーク事業の説明
- ② 平成30年度「助成金申請」の説明
- ③ 社会的孤立対策モデル事業の説明並びにモデル地区募集の案内を行いました



東風平小学校区支え合い委員会  
6月29日開催



白川小学校区支え合い委員会  
6月20日開催



具志頭小学校区支え合い委員会  
6月27日開催



新成小学校区支え合い委員会  
6月18日開催

モデル地区募集の結果、富盛、屋宜原団地、友寄第一団地、県営外間団地、具志頭、安里、仲座、新城、後原のあわせて9字・自治会に決定しました。

モデル地区になった字・自治会は、地域に2名の相談員を配置し、公民館等を活用して月1～2回程度、「地域の相談窓口」を開設する予定です。

地域の問題解決に向け、地区のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)と協働して取り組んでいきます。

既存のコミュニティソーシャルワーク事業や支え合い委員会の充実・強化に努め、八重瀬町の地域支え合い活動の活性化や、社会的孤立の解消・防止を図ります。地域の更なる福祉方向上を目指して、地域住民の皆さんと共に取り組んで参りたいと思います。

### ☆お知らせ☆

平成30年9月中旬頃、モデル地区を対象に「平成30年度社会的孤立対策モデル事業認証式及び相談員研修会」を開催予定です。開催の様子は、本誌や本会のホームページ等でお知らせ致します。



## 平成30年度 ボランティア活動推進校(園) 指定書交付式 並びに連絡会の開催

去る6月29日(金)に「平成30年度 ボランティア活動推進校(園) 指定書交付式並びに連絡会」を開催しました。今年度は、保育園14ヶ所、幼稚園4ヶ所、小学校4校、中学校2校、高等学校2校の全26校(園)がボランティア活動推進校(園)に指定されました。

ボランティア活動推進校(園) 指定事業とは、将来の八重瀬町を担う園児・児童・生徒を対象にボランティア活動や体験学習の機会を提供することにより、園児・児童・生徒の自発性や社会性が育まれていくことを目指し、共に生きる住みよい福祉のまちづくりの実現を目的として実施しています。また、実施要項に応じてボランティア活動等の費用として助成金を交付しています。

**事務局より** この一年間で多くの園児・児童・生徒がボランティア活動を通して「ボランティアの心」や「福祉の心」を育ていけるように応援していきたいと思えます。



### ～ 島尻消防組合消防本部職員による清掃ボランティア活動の実施 ～

去る8月17日(金)に、島尻消防組合消防本部職員による清掃ボランティア活動を実施しました。在宅の障がい者世帯や高齢者独居世帯又は高齢者世帯等で、自力で庭の清掃など大きな作業が出来ない方を対象に、島尻消防組合消防本部職員が対象者の自宅へ出向いて草刈りや木の伐採等を行い、旧盆を気持ちよく迎えていただくことを目的としています。

清掃していただいた世帯からは、「高齢者の一人暮らしなので大変助かる」「旧盆を気持ちよく迎えることができる」という声をいただきました。島尻消防組合消防本部も地域の一員として社会貢献活動を行うことは、地域福祉の向上と充実・発展に繋がり、本会としても大変心強い存在です。島尻消防組合消防本部職員の皆様ご協力ありがとうございました。





## 平成30年度「小学生ボランティア研修会」の開催

去る8月8日(水)に平成30年度「小学生ボランティア研修会」を開催しました。本研修会は、聴覚障害者の生活やコミュニケーションについての基礎知識を学ぶことで、聴覚障害者についての理解を深め、社会全体で支え合う福祉のまちづくりの実現を目的に実施しました。また、手話サークル「フラワーハンド」に協力いただき「手話」について学習しました。

当日は、町内4小学校の児童、先生、手話サークル会員など全45名の参加がありました。

### 児童の感想

- ボランティアは頼まれてやるのではなく、自分から相手と自分のためにやるものだとわかった。
- もっと手話を覚えて、友達の名前や物を手話で表したい。
- いろんな手話を学び、学んだことで通訳をやってみたい。
- 研修会を通して、私は障害者の方々のために何ができるのか改めて考えることができた。



## 平成30年度「中高校生ボランティア研修会」の開催

去る8月16日(木)に平成30年度「中高校生ボランティア研修会」を開催しました。本研修会は、高齢者や認知症についての基礎知識を学ぶことで理解を深め、社会全体で認知症の人々を支えあう地域づくりの構築を目指すことを目的に開催しました。

内容は、公民館で実施しているミニデイサービスやサロンの視察、認知症サポーター養成講座について学習しました。当日は、町内中学校、高等学校の生徒、先生など全31名の参加がありました。

### 生徒の感想

- ミニデイ視察に行って、地域がどのようにコミュニティを作っているかを知ることができて良かった。
- 高齢者の方が楽しそうに体を動かして見えて楽しくなった。
- 認知症サポーター養成講座は劇もあって、認知症への接し方を具体的に知ることができてよかった。
- 身近に認知症のおばあちゃんがいて劇と同じ感じだったので驚いた。



**事務局より** 本会では、次世代を担う児童・生徒が福祉について学ぶことで「思いやりの心」を育むことができるように、学校・地域・団体等と協働して福祉教育の推進に努めていきたいと思ひます。



## 平成30年度「八重瀬町手話奉仕員養成講座(基礎編)」がスタート

7月3日(火)から平成30年度「八重瀬町手話奉仕員養成講座(基礎編)」(全30回)がスタートしました。

本講座は、手話で日常会話を行うために必要な手話語彙及び手話表現技術を習得した手話奉仕員の養成講座を実施することにより、聴覚障がい者の社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を図るとともに地域福祉の増進に役立てることを目的としています。

講師は、平成29年度「手話奉仕員養成講座(入門編)」を担当したろう講師：我喜屋 健 氏、聴講師(通訳講師)：糸山 夕紀子 氏が引き続き担当することになりました。

平成29年度「手話奉仕員養成講座(入門編)」を修了した10名が受講対象となります。



### 受講生の声

- 入門編で指導してもらいましたが、忘れていることが多いので復習しながら進めてほしいです。
- せっかく入門編を学んだので、更に高めていきたいです。
- みんなで楽しみながら手話が上達できたらいいなと思います。

### 事務局より

受講生全員が最後まで修了し、「手話奉仕員」になることを目指して頑張ってください。

## 平成30年度「音訳ボランティア養成講座」の開催

7月5日(金)から「平成30年度 音訳ボランティア養成講座」(全8回)がスタートしました。講師に嘉数明美氏を招き、音訳サークル「やえせ」共催のもと講座を実施しています。

本講座は、障害者福祉の理解を深めるとともに、音訳活動の技術的基礎を学習し、文字による情報収集が困難な視覚障害者の方々に声の広報等を通じて、より良い情報を提供することで社会参加の促進を図ることを目的としています。

受講生は、現在音訳サークルで活動している方、活動しているけど講座は初めてという方、「音訳」を分からない方などさまざまです。

本会では、多くの方々が「音訳ボランティア」に興味を持っていただけるように今後も音訳サークルやえせと協働して普及啓発活動に努めていきたいと思っています。







## ～集いの広場～



### 障がい者エコクラフト教室の開催

平成30年8月3日(金)から「障がい者エコクラフト教室」(全8回)がスタートしました。本教室は、技術を学ぶことで思考力・表現力等を育み、作品作りを通して余暇活動の充実につながり社会参加の促進に寄与することを目的としています。

今回は、平成27年度に実施したエコクラフト教室を再開してほしい、という受講生の要望から再び実施することとなりました。講師は、前回と同じく宮城美智枝氏と荒田なり子氏が引き受けてくださいました。

受講生は「今度は、コースターを作ってみたい」「バッグを作ってみたい」と意気込み、みなさん真剣に作品づくりに取り組んでいます。受講生のみなさん、作品の完成に向けて最後まで無理せず、楽しくいきましょう。



## ファミリーサポートセンター情報交換会 ～「子育て応援団! サポート会員・どっちも会員」～

ファミリーサポートセンターとは、子育ての援助をしてほしい人と、子育ての援助をしたい人をつなげ、地域の人々の輪により子育て中の家庭を応援し、相互援助を行う有償ボランティア活動です。

会員(サポート会員・どっちも会員)は、忙しい生活のなかで時間を作って子育て支援活動に喜びや楽しさを感じ、好意で援助していただいています。

去る6月3日(日)に、情報交換会を開催し、サポート中の様子や援助に対する思いなどを自由に話してもらいました。

また、KYT(危険予知トレーニング)資料を用い「危険の予測・回避の意識」を認識し、リスク感性を高めることができました。



#### 参加者の声

- ・活動している方の経験談が聞けて良かった。
- ・安全面での気遣いの大切さを実感しました。
- ・情報交換会、定期的に設けてほしい。

#### 事務局より

センターのアドバイザーにとっても、会員の体験談を聞く良い機会になりました。次回、情報交換会は11月に予定をしています。ぜひご参加下さい。  
お問い合わせ 八重瀬町社会福祉協議会 ファミリーサポートセンター



## 平成30年度 社協職員総合訓練を実施しました。

去る7月20日(金)に町社会福祉会館にて総合訓練(避難誘導・通報訓練・消火訓練)を島尻消防組合消防本部と協働し実施しました。会館利用者の安全確保と災害発生時の被災規模を最小限に止めることを目的に実施し、消火訓練では、社協の生きがいデイサービス利用者の方も一緒に、「ピンポンパン」の手順で消火器の使用方法を学びました。訓練では、改めて「自助」・「共助」・「公助」それぞれの大切さを学びました。



## 理事・監事・評議員の紹介

八重瀬町社会福祉協議会の第7期理事(1名)・監事(1名)・評議員(9名)が新たに選任されましたのでお知らせいたします。

理事・監事の任期:平成31年定時評議員会終結の時まで。

評議員の任期:平成33年定時評議員会終結の時まで。



区長・自治会代表  
理事 安座名 幸一



財務管理について意見を有する者  
監事 内村 正彦



各地域福祉圏域代表  
評議員 渡嘉敷 真治



各地域福祉圏域代表  
評議員 神里 吉雄



各地域福祉圏域代表  
評議員 平仲 正美



行政職員  
評議員 金城 勇誠



行政職員  
評議員 金城 一史



ボランティア活動を行う団体の代表  
評議員 中村 房江



教育関係者  
評議員 神谷 勝彦



当事者組織代表  
評議員 知念 秀雄



当事者組織代表  
評議員 伊舎堂 守雄



退任された理事・監事・評議員の皆様には、任期中大変お世話になりました。今後とも社協の事業運営につきましては更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年度八重瀬町社会福祉協議会事業実績報告書(抜粋)

1・会務の運営

- 1) 理事会の開催(5回)
- 2) 評議員会の開催(4回)
- 3) 評議員選任・解任委員会の開催(1回)
- 4) 正副会長会の開催(13回)
- 5) 職務会の開催(12回)
- 6) 会計監査・事業監査の実施(3回)

2・役員・評議員研修会の開催

平成29年度役員(理事・監事)評議員並びに職員研修会

3・職員研修・調整会議等の開催

平成29年度 健康生活支援短期講習  
 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画 社協職員調整会議(2回)  
 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画発刊(印刷)に向けての確認作業(7回)

4・高齢者福祉に関する事業

- 1) 高齢者の生きがいと健康づくり事業の推進  
 実施所・自治会:30ヶ所 開催回数:360回  
 利用者人数:7,168名(利用者7,011名、ボランティア157名)  
 ・ボランティア登録人数:332名  
 ・ミニデイサービス代表者連絡会  
 ・ミニデイサービスボランティア研修会の開催  
 参加人数:51名  
 ・ミニデイサービス男性利用者交流会の開催(料理教室)  
 参加人数:12名
- 2) いきいきサロンの開催  
 実施所・自治会:13ヶ所 サロン開催回数:145回

- 3) いきいき活動支援通所事業の推進  
 開催回数:239回 利用者数:2,659名  
 利用者登録人数:85名

4・地域自立生活支援事業(配食サービス)

昼食の部(平成29年4月~平成30年3月)  
 配食数:5,068食  
 配食サービス事業周知活動  
 ・ミニデイサービス・サロン、区長・自治会長、民児連(定例会など) 合計23回  
 夕食の部(平成29年8月~平成30年3月)  
 配食数:2,028食  
 配食サービス事業周知活動  
 ・ミニデイサービス・サロン、校区推進會、ケアマネ連絡会など 合計18回

- 5) 配食サービス拠点ボランティア連絡会の開催(7回)
- 6) 配食サービスボランティア研修会の開催
- 7) 配食サービス利用者・ボランティア交流会

5・障害者福祉に関する事業

- 1) 障害者社会参加促進事業(受託事業)  
 「障がい者パソコン教室」(基礎編)「生け花教室」  
 「3B 体操教室」

6・子育て支援に関する事業

- 1) ファミリーサポートセンター事業(受託事業)  
 登録会員数:405名  
 ファミリー会員:295名 サポート会員:81名  
 どんちち会員:29名  
 活動案件数:539件
- 2) 平成29年度ファミリーサポートセンタースキルアップ講座
- 3) 平成29年度子育てサポート会員養成講座(5日間)
- 4) 平成29年度ファミリーサポートセンター会員交流会

- 5) 平成29年度町内幼稚園・小学校ファミサポ事業説明会
- 6) 平成29年度活動意向調査
- 7) ファミリーサポートセンター利用負担軽減事業

7・子どもの貧困対策に関する事業

- 1) 平成29年度八重瀬町子どもの貧困対策協議会の開催(2回)
- 2) シーちゃんきつず食堂の開設・運営  
 開所日数:191日  
 利用延べ人数:1,106人(小学生751人、中学生355人) ボランティア137人

8・自立支援援助に関する事業

- 1) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)  
 相談件数:262件
- 2) 生活福祉資金償還指導の実施(3回)
- 3) たすけあい金庫貸付事業

9・相談に関する事業

- 1) ふれあいのまちづくり事業  
 開設日数:243日 相談件数:607件

10・手話奉仕員養成事業

手話奉仕員養成講座(入門編)の開催:全30回

11・ボランティアセンター事業

- 1) ボランティア活動推進校(園・所)指定書交付式並びに第1回連絡会
- 2) ボランティア研修会の開催  
 小学生ボランティア研修会  
 中高生ボランティア研修会



3) 小学校との連携

- ・総合学習(福祉教育)への協力
- ・小学校総合学習(手話クラブ活動)への協力
- ・町内4小学校(東風平小・白川小・泉志頭小・新城小)×全8回
- ・24時間テレビ40「愛は地球を救う」街頭募金活動
- ・場所:マックスバリュ八重瀬店 サンエー八重瀬シティ
- ・参加者:120名
- 4) ボランティアサークルとの連携
- ・音訳サークル(やえせ)との連携
- ・手話サークル(フラーワーハンド)との連携

12・見守りに関する事業

- 1) 要援護者見守りネットワーク事業(受託事業)
- ・緊急医療情報キット新規及び更新手続き訪問件数(141件)
- ・緊急医療情報キット設置状況(3月末現在152件)

13・防災に関する事業

- 1) セーブティネットワーク事業(防災・受託事業)
- ・防災講話(災害・応急手当編)
- ・応急手当講習会の実施
- ・防災袋の届(読み聞かせ)24回
- ・夏休み企画 消防署見学ツアー
- ・平成29年度「災害時支援に関わる関係機関連絡会」開催
- ・防災等の周知活動
- 2) 県外同郷地避難訓練の実施

14・連絡調整活動

- 1) 八重瀬町区長会・社協役員情報交換会の開催

15・八重瀬町第2次地域福祉(活動)計画策定業務

- 1) 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画策定委員会の開催(5回)
- 2) 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画 作業部会・検討部会の開催(6回)
- 3) 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画事務局調整会

議(30回)

- 4) 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画策定にかかる町民意識調査の実施
- 5) 第2次八重瀬町地域福祉(活動)計画ワークショップの開催
- 6) 町内社会福祉法人への地域貢献活動に関する調査の実施
- 7) パブリックコメントの実施
- 実施期間:平成30年2月23日(金)~3月4日(日)

16・財源確保の取り組み

- 1) 会費(会費)強化促進(7月1日~31日)
- ・実績額:4,727,729円
- 2) 赤い羽根共同募金運動の推進(平成29年10月1日~平成30年3月31日)
- ・実績額:7,808,713円
- ・八重瀬町共同募金運営委員会の開催
- ・説明会の開催(区長説明会・一般説明会)
- ・チャリティゴルフ大会の開催(参加121名)
- 3) 歳末たすけあい募金運動の推進
- ・実績額:1,426,843円

17・広報活動

- 1) やえせ社協だよりの発行
- ・発行回数:4回(7月(42号)・9月(43号)・11月(44号)・13月(45号))
- 2) ホームページの管理運営
- ・総閲覧数:11,388件

18・福祉サービス苦情受付

件数:0件

19・権利擁護に関する事業

- 1) 日常生活自立支援事業の推進
- ・利用者登録者数:8名

20・指定管理事業

町社会福祉会館管理委託事業:利用者14,472名

21・その他

- 1) 社会福祉法人施設と連携して取組んだ事業
- ・児童館への食の提供
- 2) 2017年度 沖縄大学 相談援助実習・精神保健福祉援助実習の受け入れ
- 3) 県社協等で開催された研修会等への事例報告

22・CSW(4小学校区)に関する事業

- 1) 地区推進会の開催(各校区1回)
- 2) 地区助成金交付(各社協会費・赤い羽根共同募金等)
- ・東風平小学校区:合計517,000円
- ・活動内容:手芸教室・網作り・もちつき大会・新春ソフトボール大会・お誕生日おめでとう会・グラウンドゴルフ大会・ハロウィン交流会など
- ・白川小学校区:合計614,000円
- ・活動内容:区民運動会・シーサーづくり・グラウンドゴルフ大会・敬老会・夏まつり・ちゅうら花火・パークゴルフ大会など
- ・泉志頭小学校区:合計488,000円
- ・活動内容:パークゴルフ大会・夕涼み会・角力大会・ボウリング大会・夏祭り・三世代交流・美化活動など
- ・新城小学校区:合計160,000円
- ・活動内容:ハロウィン・パークゴルフ大会・BBQパーティー・盆踊りなど
- 3) 個別支援、ケース会議等の相談件数
- ・東風平小学校区(14件)
- ・白川小学校区(13件)
- ・泉志頭小学校区(9件)
- ・新城小学校区(3件)



◆ 法人単位資金収支計算書 ◆

◆ 法人単位事業活動計算書 ◆

Table with columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 金取収入, 寄付金収入, 経費戻金収入, etc.

Table with columns: 勘定科目, 当年度実績額, 前年度実績額, 増減. Rows include 金取収益, 寄付金収益, 経費戻金収益, etc.

社会福祉法人 八重野町社会福祉協議会

社会福祉法人 八重野町社会福祉協議会

◆◆◆◆◆ 法人単位貸借対照表 ◆◆◆◆◆

平成30年3月31日現在

Table with columns: 資産の部, 負債の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, etc.

社会福祉法人 八重野町社会福祉協議会

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。



## 福祉機器(用具)貸出事業



在宅で日常生活において福祉機器(用具)等を必要とされる方に対し、無料で貸出を行っています。

※貸出機器：車椅子・ポータブルトイレ・介護ベッド  
(マットレスクリーニング代として2,160円は自己負担)

※貸出期間：3ヵ月(更新可)



### 原則として

- ①町内に居住している方
- ②障害および疾病等により用具を必要としている方
- ③介護保険の制度利用までに時間のかかる方

等が貸出の条件となります。

お気軽にお問合せください。(☎998-4000)

## 寄 付

ご芳志誠にありがとうございます。この寄付金は、町内の福祉事業のため有効に活用させていただきます。紙面をかりて衷心より厚くお礼申し上げます。

平成30年6月29日～8月23日

月 日	寄付者氏名(敬省略)	住 所	金 額	備 考
6月29日	永山キヨ子	字当銘	50,000	故夫 永山金幸様の香典返しとして
7月3日	神谷眞栄	字小城	50,000	故妻 神谷キヨ様の香典返しとして
7月11日	永山幸栄	字当銘	50,000	一般寄附として
7月30日	神谷雅一	字東風平	30,000	故父 神谷清孝様の香典返しとして
7月31日	山内スミ子	字後原	50,000	故母 久田キヨ様の香典返しとして
8月9日	神谷嘉信	字東風平	50,000	故父 神谷嘉市様の香典返しとして
8月10日	新垣吉美	字志多伯	100,000	故母 新垣ハル子様の香典返しとして
8月23日	長嶺操	字港川	30,000	故母 長嶺重子様の香典返しとして
	合 計		410,000	

単位:円